

大阪インターナショナルチャーチ  
ジョセフ・トッティス牧師  
2014年4月6日

## ペテロの手紙 第二2章

世界中のあらゆる教会に、ノンクリスチャンの人たちがたくさんいます。そういった方たちが来てくださるのを、私たちは光栄に思います。キリスト教は排他的な宗教ではないからです。キリスト教は、私たちが愛してくださる生ける真の唯一神とのつながりへと、すべての人を招き入れる信仰です。神の御子イエス・キリストを信じるだけで、誰でも神の家族の一員として受け入れられます。

ヨハネ 3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ですから、今日ここに来てくださったノンクリスチャンの方々を感謝します。皆さんが聞く耳を持ってくださっているからです。聖書には、信仰は神のみことばを聞くことによってもたらされるとあります。ですから、キリスト教に興味を持ってくださるのは私たちにとっても喜ばしいことです。真理を求めるのは素晴らしいことです。自分の持つ信仰について、盲信するのではなく根拠を求めるのはとても良いことです。そうしておられる方々を主に感謝します。ノンクリスチャンの皆さんがここにおられることは、私たちにとって大きな励みです。私たちクリスチャンも、信じる決心をする前は同じことをしていたのですから。しかし、教会に歓迎されないノンクリスチャンもいます。聖書はそういう人たちについて随所で語ります。では、ペテロ第二2:1から読んでいきましょう。

2ペテロ 2:1 しかし、イスラエルの中には、にせ預言者も出ました。同じように、あなたがたの中にも、にせ教師が現れるようになります。彼らは、滅びをもたらす異端をひそかに持ち込み、自分たちを買い取ってくださった主を否定するようなことさえして、自分たちの身にすみやかな滅びを招いています。

世間にはにせ教師がいます。ペテロは、あなたがたの中にもにせ教師が現われるようになる、と言います。そのことについて、私たちは無知ではすまされません。知る必要があります。ウォレン・ウィズビはこう記しました。

❏ 「サタンはにせものである。サタンには、にせ教師が教えるにせ福音があり、にせクリスチャンを生む。神が本物のクリスチャンを置くところにはどこでも、サタンがにせものを置こうとする。」 ウォレン・ウィズビ

この警告を私たちはどう活かせばよいでしょう。まずペテロの言葉から、教会が守られなければならないことが改めてわかります。毎年多くの方々が教会の扉をくぐられますが、その中には害をもたらそうとする人もいます。感じのよい人であっても、聖書の権威や、救いはキリスト信仰によってのみもたらされることを信じていない人かもしれません。その人たちを私たちは歓迎します。その人も私たちと同様にキリストを必要としているからです。けれども、教会にその人たちの考え方をもちこませてはいけません。どの人がそうなのかどうやって見分ければよいのでしょうか。聖書にはたくさん警告がありますが、手短かに言うと、にせものを見分けるには本物

を知るのが一番です。にせものを見分ける最善策は、本物をよく覚えることです。どうすればそうできるでしょうか。使徒パウロはこのように言いました。

**2テモテ 2:15** あなたは熟練した者、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神にささげるよう、努め励みなさい。

「真理のみことばをまっすぐに説き明かす」、聖書を注意深く学ぶクリスチャンは、間違っただけの教えを見抜くことができます。ですから、私たちは聖書を学んで、すべての教えをみことばの教えに照らして見極める必要があるのです。聖書をよく知らないということは、真理を知らないことになります。それは、嘘や欺きにひっかかりやすい状態です。

**2ペテロ 2:2** そして、多くの者が彼らの好色にならい、そのために真理の道がそしりを受けるのです。

そこが悲しい部分です。多くの人がそのような人について行ってしまふのです。

**2ペテロ 2:3** また彼らは、貪欲なので、作り事のことばをもってあなたがたを食い物にします。彼らに対するさばきは、昔から怠りなく行われており、彼らが滅ぼされないままにいることはありません。

食い物にされたくなければ、真理を知る必要があります。イエスはおっしゃいました。

**ヨハネ 8:32** そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。

にせ教師やにせ預言者には、どのような結末が待っているのでしょうか。

**2ペテロ 2:4-8** 神は、罪を犯した御使いたちを、容赦せず、地獄に引き渡し、さばきの時まで暗やみの穴の中に閉じ込めてしまわれました。

**5** また、昔の世界を赦さず、義を宣べ伝えたノアたち八人の者を保護し、不敬虔な世界に洪水を起こされました。

**6** また、ソドムとゴモラの町を破滅に定めて灰にし、以後の不敬虔な者へのみせしめとされました。

**7** また、無節操な者たちの好色なふるまいによって悩まされていた義人ロトを救い出されました。

**8** というのは、この義人は、彼らの間に住んでいましたが、不法な行いを見聞きして、日々その正しい心を痛めていたからです。

もし神が御使いたちを容赦されなかったのなら、にせ預言者やにせ教師も容赦されないでしょう。神が当時の不敬虔な者を容赦されなかったのなら、現代の不敬虔な者も容赦されるはずはありません。このような裁きの実例を挙げて、不敬虔な生き方をしている今の時代の人たちに、罪を犯す者は裁かれると警告しています。

**コロサイ 3:5-6** ですから、地上のからだの諸部分、すなわち、不品行、汚れ、情欲、悪い欲、そしてむさぼりを殺してしまいなさい。このむさぼりが、そのまま偶像礼拝なのです。

**6** このようなことのために、神の怒りが下るのです。

私たちがこの世界に生きていることは確かです。しかし、その一部になる必要はありません。世間が罪にまみれているからと言って、私たちもそれに参加する必要はないのです。「みんなやってみよ」という言い訳は通用しません。ペテロは、ノアとロトが義人と認められて命拾いしたと言います。義人であるとはどういう意味でしょうか。以前にもお話ししましたが、義という漢字を見ると、よくわかります。

「義」(ぎ)

この漢字はふたつの部分からなっています。上の部分は、羊という漢字です。下の部分は自分を示す我です。我の上に羊があります。

**ヨハネ 1:29** その翌日、ヨハネは自分のほうにイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。

義人になりたければ、どこで何をしているときも、神の子羊であるイエスがあなたの上におられるようにすればよいのです。

**箴言 21:21** 正義と誠実を追い求める者は、いのちと正義と誉れとを得る。

**2ペテロ 2:9** これらのことでわかるように、主は、敬虔な者たちを誘惑から救い出し、不義な者どもを、さばきの日まで、懲罰のもとに置くことを心得ておられるのです。

神は、義人口トを救い出されたように、私たちの住む現代の世の中に神の怒りが下る前に、神の民を救い出してください。だまされてはいけません。罪は裁かれます。

**2ペテロ 2:10-14** 汚れた情欲を燃やし、肉に従って歩み、権威を侮る者たちに対しては、特にそうなのです。彼らは、大胆不敵な、尊大な者たちで、栄誉ある人たちをそしって、恐れるところがありません。

**11** それに比べると、御使いたちは、勢いにも力にもまさっているにもかかわらず、主の御前に彼らをそしって訴えることはしません。

**12** ところがこの者どもは、捕らえられ殺されるために自然に生まれついた、理性のない動物と同じで、自分が知りもしないことをそしるのです。それで動物が滅ぼされるように、彼らも滅ぼされてしまうのです。

**13** 彼らは不義の報いとして損害を受けるのです。彼らは昼のうちから飲み騒ぐことを楽しみと考えています。彼らは、しみや傷のようなもので、あなたがたといっしょに宴席に連なるときに自分たちのだましごとを楽しんでいるのです。

**14** その目は淫行に満ちており、罪に関しては飽くことを知らず、心の定まらない者たちを誘惑し、その心は欲に目がありません。彼らはのろいの子です。

裁かれる人々の特徴はこの個所に書かれたとおりです。私たちの人生が自分自身の肉の欲望とニーズによってコントロールされているなら、動物と変わりありません。動物は肉体的ニーズを満たすために生きています。

私は、ギャングのたくさんいるロサンゼルス東部の出身です。私はよく彼らの考え方がわからな  
いと思っていました。ギャングの一味は、独特の落書きをすることで自分たちの縄張りを知らせ  
ます。自分たちの所有地でもない縄張りのために、争い命を落とす者もいます。新入りがギャ  
ングの一員と認められるには、まずリンチに遭います。たくさん女性がギャングによる暴力の被  
害者になっています。そのような環境です。あるとき、私は宣教旅行でメキシコに行きました。  
そこではっきりとわかったことがあります。犬のケンカで目が開かれたのです。ある日、ふと窓  
の外を見ると、犬の群れが、その周辺に入り込んだ一匹の犬を攻撃していました。すると突然、  
攻撃されていた犬が仰向けになり、降参しました。犬の群れは、攻撃をやめ、周辺に尿をかけて  
マーキングをしながら去って行きました。まるでギャングと同じです。私たちも、自分の肉のた  
めに生き、体の欲望を満たすことだけを求めるなら、野獣と何ら変わりありません。一方、神の  
御霊によって人が新生すると、動物のような生き方をしたいと思わなくなります。自分の肉を喜  
ばすには、自分の欲望を満たすにはどうしたらよいだろう、と思わなくなります。むしろ、「ど  
うやって神を喜ばせればよいだろう」と考えるようになります。「神に栄光を帰し、称えるには  
どうしたらよいだろう」と思うようになります。それが、人が本当に新生した証拠です。もし、  
自分の日常は今も自分の欲望やニーズを満たすことに他ならないというなら、聖書の教えによ  
ると、神の御霊によって本当に新生したのかどうか、その真実性に大きな疑問が浮かびます。

**2コリント 5:17** だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

これは、肉の欲がなくなるという意味ではありません。それは常についてまわります。けれど  
も、私たちの人生を支配しなくなります。私たちが御霊に自分を明け渡すと、もはや肉の支配下  
にいなくなるからです。

**2ペテロ 2:12** ところがこの者どもは、捕らえられ殺されるために自然に生まれついた、理性のない動物と同じで、自分が知りもしないことをそしるのです。それで動物が滅ぼされるように、彼らも滅ぼされてしまうのです。

その通りではありませんか。主のことを知りもしないで悪く言う人たちに会ったことがあるで  
しょう。そのような人たちは、聖書の教えを実際にはまったく知らないのに悪く言うことで、結  
局自分を有罪としてしまうのです。

**ヨハネ 3:17-18** 神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救  
われるためである。

**18** 御子を信じる者はさばかれない。信じない者は神のひとり子の御名を信じなかったので、す  
でにさばかれています。

悲しいことに、教会にこのような人たちがよくいます。教会の指導者の立場にいることもしば  
しばです。その人たちは、人の注目を自分に集めようとします。また、うまい嘘や誘惑で、人を自  
分の思い通りにしようとします。

**2ペテロ 2:15-16** 彼らは正しい道を捨ててさまよっています。不義の報酬を愛したベオルの子バラムの道に従ったのです。

**16** しかし、バラムは自分の罪をとがめられました。ものを言うことのないるばが、人間の声でものを言い、この預言者の狂った振舞いをはばんだのです。

聖書は、教師の思い上がりをいっさい許しません。神はみこころなら口バを通してでも語ることがおできになります。

**2ペテロ 2:17-18** この人たちは、水のない泉、突風に吹き払われる霧です。彼らに用意されているものは、まっ暗なやみです。

**18** 彼らは、むなしい大言壮語を吐いており、誤った生き方をしている、ようやくそれをのがれようとしている人々を肉欲と好色によって誘惑し、

「彼らは、むなしい大言壮語を吐いており、」とあるとおり、あなたが望む物は何でも手に入ると空約束をします。ペテロは、こういった誘惑は肉の欲に訴えかけると言います。ヨハネも同様のことを語りました。

**1 ヨハネ 2:16** すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢などは、御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。

イエスはこう言われました。

**マタイ 16:26** 人は、たとえ全世界を手に入れても、まことのいのちを損じたら、何の得がありません。そのいのちを買い戻すには、人はいったい何を差し出せばよいでしょう。

何を強く求めるか、気をつけなければなりません。それを手に入れてしまう可能性があるからです。そうなるのが必ずしも良いこととは言えません。

**2ペテロ 2:19-20** その人たちに自由を約束しながら、自分自身が滅びの奴隷なのです。人はだれかに征服されれば、その征服者の奴隷となったのです。

**20** 主であり救い主であるイエス・キリストを知ることによって世の汚れからのがれ、その後再びそれに巻き込まれて征服されるなら、そのような人たちの終わりの状態は、初めの状態よりもっと悪いものとなります。

ペテロは、主をとおしてこの世の汚れから人が逃れたと言います。しかし、もし「その後再びそれに巻き込まれて征服されるなら、そのような人たちの終わりの状態は、初めの状態よりもっと悪いものとなります。」

**2ペテロ 2:21-22** 義の道を知っていながら、自分に伝えられたその聖なる命令にそむくよりは、それを知らなかったほうが、彼らにとってよかったのです。

**22** 彼らに起こったことは、「犬は自分の吐いた物に戻る」とか、「豚は身を洗って、またどろの中にころがる」とかいう、ことわざどおりです。

新年の抱負を掲げるだけでは不十分です。過去の悪行を清算しても十分ではありません。新生に意味があるのです。新生していなければ、過去の罪を清算しても、すぐに元の木阿弥です。それどころか、前よりも悪い状態になってしまいます。

泥だらけのブタを家に入れるとします。お風呂に入れて、石鹸で洗って、歯も磨いて、香水とリボンをつけます。一見きれいに見えますが、自由にさせたらどうなるでしょう。すぐにまた泥の中を大喜びで転がるでしょう。ブタをきれいに洗っても、それだけではダメなのです。性質が変わらなくてはならないのです。

多くの人も、表向きは変わっても未だ新生していません。心が変わっていないのです。どうしてそんなことがわかるのでしょうか。簡単です。その人たちは教会にも泥だらけで来ます。神のみことばに一時的にきよめられるかもしれませんが、一旦教会から出ると、またすぐに泥だらけになります。

私たちは新しく生まれなければなりません。神の御霊の力だけが、私たちをきよく保っていられます。そして、心を変えることができるのです。それこそが、本当の福音です。多くの教師は表面的なことを語りますが、「神の御霊によって生まれ変わる」という核心部分に触れません。それだと、素行を矯正する助けになるかもしれませんが、問題の核心に触れなければ、泥の中に逆戻りするのとは時間の問題でしょう。今日、神に永遠にきよめていただきましょう。内側からです。

もし、イエス・キリストを自分の主、救い主として受け入れたことがないなら、または改めて自分の人生を主にささげる必要があるなら、この告白の祈りを祈って、主にあなたの人生に入ってください。

☞ ともに祈りましょう。

☞ 天のお父様、私はあなたに対して罪を犯しました。どうか赦してください。罪深い生き方を離れて、あなたについて行きたいのです。あなたの御子イエス・キリストが私の罪のために死に、死からよみがえって、今生きて私の祈りを聞いてくださっていると信じます。イエスさま、私の人生の主になってください。そして、今日から私の心を支配してください。あなたの聖霊を送ってください。これからの人生ずっと、あなたに従い、あなたのみこころを行うことができるよう助けてください。イエスの御名によってお祈りします。アーメン。